

2014 年度武田中学校高等学校インターアクトクラブ活動報告

<6 月>

○認証伝達式

6 月 18 日(水)に認証状伝達式を挙行政いたしました。伝達式には、県会議員芝清様・下原康充様をはじめ、東広島市教育長木村清様および国際 RC 第 2710 地区の役員の皆様や近隣 RC ご関係者の皆様、武田中学校・武田高等学校教育後援会役員の方々にもご臨席頂きました。東広島 21RC 会長の岸田洋美様からの設立経緯報告、武田総長からの学園の略史をふまえた学校からの挨拶ののち、国際 RC 第 2710 地区ガバナー沖田哲義様より IAC 認定状を伝達していただきました。武田中学校・武田高等学校 IAC メンバーの紹介後、IAC 会長に就任した田畑達也君(2 年 2 組)が IAC 活動に対する決意表明を行いました。続いてご来賓の皆様よりご祝辞を賜り、島本校長が謝辞を述べ、無事伝達式が終了しました。



○東広島 21 ロータークラブ例会への参加

<7 月>

○7 月 26 日 27 日 第 2710 地区第 38 回インターアクト地区大会 於 ; 広島サンプラザ
当部より高校 2 年生田畑達也、中学 3 年来山開生の 2 名が参加しました。当日は第 2710 地区内の他校インターアクトクラブの生徒とコミュニケーションを図り、他校がどのような活動をしてきたのか情報を得て、今後の活動の展開を具体的にイメージすることができました。また広島修道大学の先生による講演を拝聴し、国際分野に興味関心を持つ 2 人にとって刺激的な時間となりました。2 人は学校に帰り本会での学びを仲間に伝えました。

<8月>

○8月6日 ドイツ大使講演会への参加

当部より高校2年田畑達也、高校2年木村朱花、高校2年石崎美穂の3名が参加しました。大使に直接お会いできるというまたとない機会に恵まれ、3名の生徒は大変感激しました。



○8月29日 広島市土砂災害募金活動 於；西条駅

当日は東広島21ロータリークラブ、東広島市役所、西条警察署、その他多くの方々の協力の下、募金活動を実施することができました。特に岸田先生のご尽力無くして今回の活動を遂行することはできませんでした。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回の活動がインターアクトクラブ全体としての最初の活動でしたが、クラブの生徒達は普段の学校生活では見せない大きな声で全力で募金のお願いをし、その真剣な姿に通行人の方々がしっかりと応えて下さいました。

309,526円の義援金を寄付していただき、まずはその額の大きさに驚くとともに、募金をして下さった一人一人の思いの重さを感じました。

9月3日に中国新聞東広島総局に義援金を持参し、総局長の金山努様に直接手渡しし、被災地に役に立てていただくようお願いいたしました。また翌日の中国新聞に早速本件の記事を載せていただきました。

一日も早く被害にあわれた方々の生活が元に戻ることを祈り、引き続き自分たちができることを考えて行動していきたいと思えます。



<9月>

○東広島市市民文化センター（サンスクエア）での外国人居住者に対する日本語会話ボランティア

国際学術都市を謳う東広島市には広島大学を中心に大勢の留学生およびその家族が暮らしています。彼ら/彼女らの多くが暮らすサンスクエアで日本語ボランティアを開始しました。この活動は単発的なものではなく、毎週水曜日に実施することを計画しています。今後は計画を立てプロジェクトベースで実施していきたいと考えています。



<10月>

○東広島21ロータリークラブ例会へ出席し活動報告。

○東広島市市民文化センター（サンスクエア）での外国人居住者に対する日本語会話ボランティア。

<11月>

○広島大学より留学生を招き異文化理解学習を行いました。今回はインドネシア人留学生に来ていただきイスラム教に関する話をさせていただきました。

○東広島市市民文化センター（サンスクエア）での外国人居住者に対する日本語会話ボランティアを行いました。

<12月>

○**Jack-o'- Lantern** コンテスト (ハロウィーンコンテスト) の開催

毎年恒例のイベントをインターアクトクラブ主催で行いました。事前の準備や当日の飾りつけ、展示場の飾りつけ、表彰式の進行等、運営の全般を行いました。



○広島大学留学生にマレー語を教わる。

来る2月に予定されているブルネイ渡航に向けて、広島大学に出向き、マレーシア人留学生にマレー語を教わりました。



<1月>

○International Bistro (異食 文化体験イベント)開催

1月17日(土)、東広島市中央生涯学習センターにて、“International Bistro (異食 文化体験)”を開催しました。本活動は大きく3つの目的をもって行いました。1つ目は2月に帰国するロシア人留学生のイリーナさんとの思い出を作ること、2つ目は一緒に料理をし自分たちで作ったものを食べることによって、語学力およびコミュニケーション能力を伸ばすこと、3つ目はロシアの料理を食べることによる異文化体験です。当日は広島なぎさ高校からアメリカ人留学生のジョーイ君、そして広島大学で学んでいるアメリカ人、ベネズエラ人、スウェーデン人の留学生4人も来てくださりとてもインターナショナルな雰囲気になりました。さらにはいつも本校インターアクトクラブをサポートして下さっている東広島21ロータリークラブの方々もお越し下さり大変有意義なイベントとなりました。

この日はイリーナさん指導の下、ロシアの伝統料理であるオリヴィエ・サラダとビーフストロガノフをみんなで作りました。



<2月>

○JENESYS 2.0 ブルネイ派遣事前準備

日本政府主導プログラム JENESYS2.0 のブルネイ派遣校として、武田高等学校が選ばれました。3月に10日間、本校生徒22名と教員2名がブルネイを訪問し、現地政府機関への表敬訪問や現地校との交流を通じて「クール・ジャパン」を発信することが目的です。22名のうち12人がインターアクト部員であり、2月はプレゼンテーションの準備、ブルネイ国についての事前学習などを中心に取り組みました。

<3月>

○JENESYS 2.0 ブルネイ派遣

蔵田東広島市長および湯崎広島県知事への表敬訪問を行い、広島県、ひいては日本の代表として派遣される責任感と緊張感を胸に、ブルネイ派遣を実施しました。派遣団の中でもインターアクト部員がリーダーシップを発揮し、期待以上のパフォーマンスを行い現地の方々および外務省の関係者から高評価をいただきました。



<4月>

○豪州より Southern Cross School 来校

4月10日（金）に本年度国際交流プログラム第1弾としてオーストラリア ニューサウスウェールズ州のサザンクロススクールより男女11名の高校生と引率の先生2名をお迎えしました。インターアクト部員は学内の案内や様々なアクティビティの補助を行いました。



<5月>

○ネパール大地震への募金活動

2015年4月25日にネパールで発生した大地震により5月6日時点で7700人以上の方が亡くなられ、1万人以上の方が負傷をされ、今もなお懸命な救出 捜索活動および復旧活動が行われています。本校生徒の同年代の生徒も巻き込まれておりやりきれない思いでいっぱいです。平成24年3月11日に発生した東日本大震災の際は世界各国の人々が日本の復興を願い、祈りを捧げ、支援に取り組んでくれました。ネパールの人々も様々な形で尽力してくれました。5月8日（金）に昼休みに学校で、そして夕方に西条駅で募金活動を行いました。当日は広島大学のネパール人大学院生の Mrinila さんも参加して下さいました。この Mrinila さんは3年前に福島県に行き、東日本大震災後の復興支援に携わった経験をお持ちです。

昼休みに校内で行った募金活動では、体育祭の前日準備で非常に忙しい中、多くの教員、生徒がインターアクト部員の声かけに足を止め募金してくれました。本校生徒の人助けの精神を垣間見ることができ、頼もしく思えました。



当日夕方から夜にかけて西条駅で行った募金活動は、東広島21ロータリークラブ、東広島市役所、西条警察署、その他多くの方々の協力で実施することができました。この活動には Mrinila さんに加え、ネパール人留学生の Bijan さんも参加し、総勢 20 人で募金を呼びかけました。家路に急ぐご家族、学生、社会人の多くの方々が募金に協力していただきました。

聞いたことはあっても、どこにあるかさえ知らない人も多いであろうネパールへの募金活動に、どれだけ多くの協力を得られるかの不安はありましたが、クラブの生徒達は普段の学校生活では見せない程大きな声で全力のお願いをし、その真剣な姿に通行人の方々がしっかりと答えてくださいました。最終的に校内外で 306,461 円の義援金を寄付していただき、まずはその額の大きさに驚くとともに、募金をして下さった一人一人の思いの重さを感じました。寄せられた義援金と皆様からのお気持ちを広島大学留学生協会 (Hiroshima University International Student Association: HU - ISA) に届け、ネパールでの支援活動に利用していただくこととなりました。





<6月>

○NFLJ 英語ディベート大会出場

6月13日(土)に大分県別府市のAPU(立命館アジア太平洋大学)で開催された第1回NFLJプレ大会(ディベート部門)にインターアクトクラブ ディベートチーム(高校1年生6名)が出場しました。「人口知能のメリット・デメリット」について、英語で正式な「パブリック・フォーラム」ディベートスタイル(4ラウンド制)に従った大会でした。全国からの強豪校9校がそろった中で初めてのディベート大会出場にも関わらず、4ラウンドの中で武田の全チームが最低一回は勝つことができ、いい収穫を得ることができました。

